

— 未来の豊島区をつくる —

# 「いのちの森」

多くの人が集い、にぎわいのあるまち、私たちの豊島区。  
未来に緑いっぱいの豊島区を作っていくため様々な取り組みを行なっています。  
その中でも身近な取り組みである「いのちの森」づくりを紹介します。

## 10年で大きく育った「いのちの森」を見てみよう

区内の約100か所に植樹した「いのちの森」。約10年たった今、どんな景色になっているのでしょうか？

### ▶ 池袋本町電車の見える公園

清掃車庫があったこの場所は平成25年に公園に生まれ変わりました。大きな「いのちの森」が育っています。

●植樹本数…2,089本

**住所** 池袋本町4-41

**アクセス** 東武東上線板橋駅 徒歩1分



平成25年3月



令和4年1月

### ▶ 南長崎はらっぱ公園

大きなはらっぱのある憩いの公園。平成23年、地域の方とともに「いのちの森」植樹を行いました。

●植樹本数…3,150本

**住所** 南長崎6-1-20

**アクセス** 西武池袋線東長崎駅 徒歩5分



平成23年5月



令和4年1月

## 学校の森

「いのちの森」を学校に作ろう！との考えのもと、平成21年度に全ての区立小中学校で合計約1万本の植樹をしました。  
植樹した樹木は、今どうなっているのでしょうか。右の看板を目印に探してみてください。



巣鴨小学校



朋有小学校

## 木を植えてみよう！

豊島区の人口は約29万人。一人一本の木を植えたら…未来のためにみなさんも木を植えてみませんか？  
ベランダのプランターや庭の一角に植樹できるように、年2回「いのちの森」の苗木を配布しています。時期などは「広報としま」または豊島区のホームページをご覧ください。



「いのちの森」では

## こんな木が植樹されているよ！

豊島区では、「いのちの森」として在来種の42種類を植樹してきました。そのなかでも多く植樹した樹種をご紹介します。

高木 シラカシ 5m～20m



公園によく落ちているどんぐりの中でも、小ぶりなどんぐりがなる木です。公園の植栽や街路樹としてよく見られます。細長く小さいギザギザがついている葉っぱが特徴的です。日陰でも生長する丈夫な樹木です。

高木 タブノキ 5m～25m



潮風や日陰に強い性質から、防風樹としてもよく利用されている常緑広葉樹。幹が1m以上にもなる大きな木も、都心でしばしば見られます。別名「犬楠(いぬぐす)」。寒さに強く、わずかな日照でも光合成を行うためよく育ちます。

高木 ヤマザクラ 7m～20m



名前の通り山に咲く桜なので「ヤマザクラ」。白っぽい花を咲かせ、花と同時に赤い葉っぱが開くのが特徴です。日当たりや風通しの良い場所がよく育ちます。

中木 カクレミノ 2m～8m



葉の形が昔の雨具である蓑(ミノ)に似ていることが、名前の由来になったとも言われています。日陰でもよく育ち、暑さにも強く育ちやすいため庭木としても適しています。

低木 クチナシ 0.2m～3m



風車の様な形のいい香りの花が咲くので街中に多く植えられています。秋には断面が六角形の実がなり、黄色の食用色素としてよく使われています。暖かい気候とやや湿った土地を好みます。

## 「いのちの森」ってなあに？

植物生態学者の宮脇昭先生が提唱する宮脇方式で植樹し、作られた森。

- ・生物多様性や温暖化を抑制し「命を守る森」
- ・災害時に防災林となり「命を守る森」
- ・苗から植えて育てることで「命の尊さ、素晴らしさを教えてくれる森」

豊島区では、日本一の高密都市を緑豊かな都市に再生する「グリーンとしま」再生プロジェクトを立ち上げ、宮脇方式で全区立小中学校、区内各地に植樹しています。

## 「いのちの森」の特徴

### 在来種を植える

その土地に昔からある植物を植えることで自然の森に近い状態に育ちます。人の手による持続的な管理がいらぬ、災害に強いなどの特徴があります。

### 様々な種類を密に植える

いろいろな種類の木を混ぜ、とにりに異なる樹木が来るように植えます。

「育つかない？」と心配になりますが大丈夫。枯れても見守り、手をあまり加えないことで、自然の森のようになっていきます。



混植されて森ができています(みらい館大明)

### 狭い土地でも森ができる！

土地にあった植物を「密植、混植」で植えることで、庭や公園の花壇などの狭い場所でも立体的な森を作ることができます。

## 「いのちの森」の生みの親

植物生態学者の宮脇昭先生は「その土地に由来から生息している種類の木を複数種類混ぜて、密に植える」森づくりを提唱実践してきました。「宮脇方式」の植栽は植物間の自然な生存競争により、通常の植樹よりも速く丈夫に生長するとされています。

世界各地で実践され、都会でも森を作ることができるため豊島区でも「宮脇方式」の植樹を行っています。

平成21年から区内「いのちの森」「学校の森」の植樹指導や講演を行っていただくなど、緑化事業へ多くのご協力をいただきました。

### 宮脇 昭先生(略歴)

昭和3年岡山県生まれ。植物生態学者。ドイツ国立植生園研究所で潜在自然植生理論を学び、横浜国立大学名誉教授、(公財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長などを歴任。約10年をかけて日本全国を巡り、潜在的な自然植生を調査してまとめた「日本植生誌(至文堂)」ほか著書多数。令和3年7月に永眠。



平成23年9月 豊島清掃工場植樹にて

## エコのわBOOK

VOL 13

### 森は地球のたからもの 全3巻

著/宮脇昭 発行/ゆまに書房

「いのちの森」の提唱者である宮脇昭先生の著書。森林環境の大切さや私たちが実践できる植樹方法など、豊富なイラストや写真で紹介しています。

3冊読むことで「いのちの森」の考え方を、より深く理解することができます。

